



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年7月29日

上場会社名 広栄化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4367 URL <https://www.koeichem.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 麗  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理室長 (氏名) 鈴木 篤 (TEL) 03-6837-9304  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の業績 (2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,599	△11.2	97	104.9	116	△11.9	73	△57.0
2022年3月期第1四半期	4,055	△0.1	47	△89.4	132	△73.3	170	△43.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	15.02	—
2022年3月期第1四半期	34.95	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	35,170	21,744	61.8
2022年3月期	34,706	21,934	63.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 21,744百万円 2022年3月期 21,934百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,400	20.1	700	113.8	600	31.2	450	△5.4	92.00
通期	19,500	12.7	1,100	116.4	950	18.4	820	△12.8	167.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	4,900,000株	2022年3月期	4,900,000株
2023年3月期1Q	8,883株	2022年3月期	8,883株
2023年3月期1Q	4,891,117株	2022年3月期1Q	4,891,195株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の効果などによる経済活動の正常化が期待されるものの、ウクライナ情勢の悪化・長期化、資源・エネルギー価格の高騰などによる世界経済の鈍化の影響に加えて、円安の進行に伴う物価上昇等が懸念され、先行きは不透明な状況が続いております。

このような情勢のもとで、当社は、売価是正、拡販に注力するとともに、生産の合理化・効率化による製造原価低減など一層のコスト削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、機能性化学品は電子材料関連製品の販売が増加しましたが、医農薬関連化学品は欧州向けの医薬関連製品の出荷が減少し、その他ファイン製品は樹脂関連製品等の販売が減少したことにより、当第1四半期累計期間の売上高は35億99百万円（前年同四半期比11.2%減）となりました。利益面では、売価是正の一定の成果及び棚卸資産増加に伴う在庫負担固定費の増加などの増益要因がありましたが、原燃料価格高騰及び販売減少等の影響を受け、営業利益は97百万円（前年同四半期比104.9%増）、経常利益は1億16百万円（前年同四半期比11.9%減）、四半期純利益は73百万円（前年同四半期比57.0%減）となりました。

(製品グループ別売上高)

製品グループ		前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
ファイン製品	医農薬関連化学品	(注) 1,526	37.6	1,199	33.3	△327	△21.5
	機能性化学品	1,686	41.6	1,808	50.3	122	7.2
	その他	(注) 841	20.8	591	16.4	△250	△29.8
	計	4,055	100.0	3,599	100.0	△456	△11.2

(注) 従来、医農薬関連化学品に含めていた $\alpha$ -ピコリンの売上高は、社内管理方法の見直しに伴い当第1四半期累計期間からその他に含め表示しております。これに伴い、前第1四半期累計期間における $\alpha$ -ピコリンの売上高56百万円を、医農薬関連化学品からその他に組替えております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、売上高の減収により売掛金が減少しましたが、棚卸資産などが増加し、前事業年度末に比べ5億32百万円増加の134億15百万円となりました。

固定資産は、前事業年度末に比べ68百万円減少し、217億55百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ4億63百万円増加し、351億70百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、買掛金の増加などにより、前事業年度末に比べ6億81百万円増加の67億15百万円となりました。

固定負債は、前事業年度末に比べ26百万円減少し、67億10百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ6億54百万円増加し、134億26百万円となりました。

#### (純資産)

純資産は、四半期純利益の計上及び配当金の支払いなどにより、前事業年度末に比べ1億90百万円減少し、217億44百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の63.2%から61.8%となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績見通しは、2022年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	277	597
売掛金	5,181	3,453
商品及び製品	3,433	4,731
仕掛品	1,693	1,748
原材料及び貯蔵品	1,565	1,965
預け金	300	700
その他	431	218
流動資産合計	12,882	13,415
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,255	6,181
機械及び装置（純額）	5,999	6,024
建設仮勘定	5,608	5,617
その他（純額）	2,919	2,913
有形固定資産合計	20,782	20,736
無形固定資産	124	135
投資その他の資産		
投資有価証券他	921	887
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	916	882
固定資産合計	21,823	21,755
資産合計	34,706	35,170
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,356	2,968
短期借入金	850	850
未払法人税等	76	53
賞与引当金	165	—
受注損失引当金	44	126
設備撤去引当金	21	—
その他	2,521	2,717
流動負債合計	6,034	6,715
固定負債		
長期借入金	4,400	4,400
退職給付引当金	1,865	1,857
受注損失引当金	100	108
その他	371	344
固定負債合計	6,737	6,710
負債合計	12,771	13,426

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金	1,551	1,551
利益剰余金	17,924	17,753
自己株式	△14	△14
株主資本合計	21,804	21,633
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	129	110
評価・換算差額等合計	129	110
純資産合計	21,934	21,744
負債純資産合計	34,706	35,170

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	4,055	3,599
売上原価	3,241	2,563
売上総利益	814	1,035
販売費及び一般管理費		
発送費	90	91
給料手当及び賞与	256	258
退職給付費用	16	15
試験研究費	228	237
その他	174	334
販売費及び一般管理費合計	766	937
営業利益	47	97
営業外収益		
受取配当金	17	4
為替差益	—	22
受取補償金	38	—
受取保険金	36	—
雑収入	0	0
営業外収益合計	93	27
営業外費用		
支払利息	4	6
為替差損	2	—
雑損失	1	1
営業外費用合計	8	8
経常利益	132	116
特別利益		
投資有価証券売却益	131	—
特別利益合計	131	—
特別損失		
固定資産除却損	14	8
特別損失合計	14	8
税引前四半期純利益	249	108
法人税等	79	35
四半期純利益	170	73

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生する原価差異等につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債（その他）として繰り延べております。

2. 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。